

# 令和6年度事業報告書

社会福祉法人鋸南町社会福祉協議会

# 法 人 運 営

## 1. 理事会・評議員会等の開催

定款の規定に基づき理事会・評議員会等を開催、法人の事業計画や予算・決算の財務状況等について説明、適切な運営に努めた。

区 分	出席人数	議案	理 事 会	区 分	出席人数	議案	評 議 員 会	
第1回 (6.6.13)	理事 6 名	1	令和5年度事業報告について	第1回 (6.6.28)	評議員 9 名	1	令和5年度事業報告について	
		2	令和5年度決算について			2	令和5年度決算について	
		3	準職員就業規則の一部改正について			3	理事の選任について	
	監事 2 名	4	評議員選任候補者の推薦について	第2回 (7.3.26)	評議員 12 人	1	令和6年度社会福祉事業会計補正予算(第1号)について	
		5	評議員選任・解任委員会の招集について			2	令和6年度介護サービス事業会計補正予算(第1号)について	
		6	評議員会の開催について			3	基金の取り崩しについて	
第2回 (6.12.20)	理事 7 人	1	職員の給与に関する規則の一部改正について	第3回 (7.3.26)	監事 2 人	4	令和7年度事業計画について	
		2	準職員就業規則の一部改正について			5	令和7年度社会福祉事業会計予算について	
		3	第32回鋸南町社会福祉大会について			6	令和7年度介護サービス事業会計予算について	
	4	評議員選任・解任委員の選任について	評議員選任・解任委員会					
	5	評議員選任候補者の推薦について	第1回 (6.6.13)			4 人	1	評議員の選任について
	6	評議員選任・解任委員会の招集について	2			評議員の選任について		
第3回 (7.3.26)	理事 8 人	1	令和6年度社会福祉事業会計補正予算(第1号)について	第2回 (6.12.20)	5 人	1	評議員の選任について	
		2	令和6年度介護サービス事業会計補正予算(第1号)について					
		3	基金の取り崩しについて					
	監事 2 人	4	令和7年度事業計画について					
		5	令和7年度社会福祉事業会計予算について					
		6	令和7年度介護サービス事業会計予算について					
		7	職員の育児・介護休業等に関する規則の一部改正について					
		8	評議員選任・解任委員の選任について					
		9	評議員会の開催について					

## 社会福祉の啓発

### 1. 広報「ふくし」の発行

広報「ふくし」を3回発行、社会福祉協議会の財務状況や各種事業について紹介し、町民の皆さんに社会福祉協議会について理解を深めていただくと共に社会福祉の啓発に努めた。

### 2. ホームページの充実

社会福祉協議会の業務内容や各種事業の内容について広く紹介することにより、鋸南町社会福祉協議会の周知徹底と社会福祉の啓発及び地域福祉の推進を図るために、ホームページの充実に努めた。

## 地域福祉の推進

### 1. 社会福祉協議会支部活動の支援

町民の皆さんが、長年住みなれた自宅で生涯安心して暮らし続けることができるよう、地域での支え合い・助け合いによる地域ぐるみ福祉活動を実施する組織である社会福祉協議会各支部の運営を支援した。

#### 1. 各支部の活動

支部名	日付	活動内容	人数
保田支部	12月	歳末お見舞い（71歳以上の一人暮らしの方）	220名
勝山支部	12月	歳末お見舞い（71歳以上の一人暮らしの方）	213名
佐久間支部	3月	昼食プレゼント（71歳以上の一人暮らしの方）	45名

## 2. 地区懇話会の開催

(内容)

- ①地域支え合い先進事例の紹介
- ②鋸南町社会福祉協議会の地域支え合い事例の紹介
- ③地域支え合い（地域の困りごと）に関する意見交換

(開催実績)

区分	月 日	区・場 所		人数
保田 支部	10/17 (木)	小保田区 市井原区 横根区	鋸東コミセン	10名
	11/ 2 (土)	本郷上区 大帷子上区	本郷上公民館	16名

区分	月 日	区・場 所		人数
勝山 支部	10/13 (日)	両向区	両向青年館	26名
	10/19 (土)	岩井袋区	岩井袋第2コミセン	22名
	10/27 (日)	田町区	田町公民館	12名
佐久間 支部	10/26 (土)	上佐久間区	上佐久間下組 公民館	21名

## 2. 各種資金の貸付

資金の貸し出しにより、生活の安定と福祉の増進に努めた。

区 分	内 容
福祉金庫	生活保護法の適用を受けている方や、これらに準ずる方が災害・疾病・出産・就業等の事情により、一時的に緊急支出の必要が生じた場合等、資金の貸し出しにより安定した生活が営めるよう支援した。

(資金の貸付・返済状況)

資 金 名	貸 付		返 済	
	件数	金 額	件数	金 額
福祉金庫	2件	200,000円	31件	262,000円

### 3. 心配ごと相談所の開設

(事業の内容) 心配ごと相談所の設置により、日常生活上の悩みごと等の相談に応じ町民の福祉の増進に努めた。  
(相談員) 人権擁護委員(3名) 行政相談委員(1名) 民生委員児童委員(2名) 計6名  
(相談日) 隔月(偶数月)  
(相談件数)

4/15	6/17	8/16	10/15	12/16	2/17	計
1	1	0	0	1	0	3

### 4. 無料弁護士相談の実施

(事業の内容) 弁護士による専門的な法律相談の実施により、地域福祉の推進に努めた。  
(相談員) 千葉県弁護士会所属の弁護士  
(相談日) 隔月(奇数月)  
(相談件数)

5/8	7/10	9/11	11/13	1/8	3/12	計
0	5	4	5	0	2	16

### 5. 福祉教育の推進

小・中学生を対象に福祉教育を推進することにより、地域での支え合い助け合いの心を醸成し、町民の誰もが豊かに暮せる『地域ぐるみ福祉』の基盤づくりに努めた。

- ① 福祉作文・標語を募集し、優秀作品を表彰。
- ② ボランティアスクールの実施。(詳細は、後述「13. 災害ボランティア活動の体制整備」に掲載)

### 6. 福祉車両の無料貸出事業

社会福祉協議会が所有する福祉車両を、通院等の外出に際し一般のセダン型車両では移動が困難な方の家族等に対して、無料で貸し出すことにより地域福祉の向上に努めた。

(貸出回数)

(単位：回)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
5	7	7	7	3	6	4	6	4	4	8	9	70	5.8

## 7. 福祉有償運送事業（カーぼら）

道路運送法第 79 条に基づき福祉有償運送事業を関東陸運局千葉運輸支局に登録、1 人で公共交通機関の利用が困難な「移動困難者」に対し、医療機関への送迎や買い物等の外出支援サービスを行うことにより、地域福祉の向上に努めた。

※運転協力者（ボランティア）は 24 名

### 【利用状況】

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
ヘルパー	利用者数（人）	40	34	45	39	42	34	40	39	48	43	44	45	493	41.1
	利用回数（回）	104	119	141	148	136	110	147	155	154	113	125	109	1,561	130.1
ボランティア	利用者数（人）	38	46	33	26	30	38	37	37	37	37	33	37	429	35.8
	利用回数（回）	156	128	122	112	98	125	125	107	150	121	128	103	1,475	122.9
内訳	町内（回）	74	40	24	42	46	40	41	41	59	57	54	48	566	47.2
	町外（回）	82	88	98	70	52	85	84	63	91	64	74	55	906	75.5
合計	利用者数	78	80	78	65	72	72	77	76	85	80	77	82	922	76.8
	利用回数（回）	260	247	263	260	234	235	272	262	304	234	253	212	3,036	253.0

## 8. 配食サービス事業（食ボラ）

高齢者等が自宅で自立した生活が継続できるよう、地域における見守りネットワークの一つとして、食事の調理が困難な高齢者を対象に、配食サービスを手段としてボランティア(登録 29 名)により定期的に状況を把握し地域ぐるみ福祉の推進に努めた。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
利用者数	21	25	28	25	29	30	26	22	22	21	21	22	292	24.3
配食数	245	261	265	306	294	280	272	229	245	222	222	231	3,072	256.0

## 9. 訪問型サービスB事業（訪問助け合い活動『ちょこボラ』）

要支援 1, 2 及び基本チェックリスト該当者を対象とし、掃除、買物、ゴミ出し等の生活支援に努めた。

サービスの提供は、所定の養成研修を修了した地域住民が生活支援サポーターとして実施しており、11月のちょこボラサポーター研修後には新たに 5 名の登録があり、有資格者 2 名の登録と合わせて、サポーター登録は 34 名となった。

また、『ちょこボラ』の上限を超えて利用する場合及び要介護 1, 2 の方には『ちょこボラプラス』としてサービスを提供した。

### 1. ちょこボラ実績

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
利用者数	13	13	15	15	17	17	15	15	19	18	18	18	193	16.1
利用回数	42	40	38	47	48	50	58	53	57	57	52	56	598	49.8

### 2. ちょこボラプラス実績

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
利用者数	6	6	6	6	5	4	4	3	1	2	2	2	47	3.9
利用回数	12	15	13	9	9	8	7	4	2	5	5	3	92	7.7

### 3. サポーター研修

区 分	月 日	内 容	出席者
フォローアップ研修	5/29	(第1部) ・なぜ「担い手」が必要なの (第2部) ・鋸南町の介護支援専門員との意見交換	22名
	10/25	・普通救命講習会 ・「ちょこボラサービス内容」の意見交換	16名
養成研修	11/7	・介護保険制度と総合事業の仕組み 鋸南町の担い手について ・高齢者の特徴と対応 ・コミュニケーション技術 ・認知症について・ちょこボラ活動とは	6名

## 10. 生活支援体制整備事業の推進

地域支え合い推進協議会を始めとする住民との話し合いの場を継続的に設け、地域課題の把握、住民主体の生活支援体制の構築、居場所づくり（サロン活動）の推進など、地域住民全体を巻き込んだ地域づくりを推進した。

### 1. 鋸南町地域支え合い推進協議会

	月 日	協 議 事 項	出席者
第1回	7/29	1. ちょこボラ活動報告について 2. サロン活動及びサロン支援について 3. 鋸南町の社会資源について 4. 認知症地域支援推進員の活動について	17名



	月 日	協 議 事 項	出席者
第 2 回	2/27	1. ちょこボラ活動報告について 2. 認知症地域推進員の活動について 3. その他 ・買い物支援の説明 ・「オレンジの会」との連携について ・A I オンデマンド交通について	14 名

## 2. 関係機関等との会議

- ①行政との連絡会議の開催（月 1 回）
- ②介護保険サービス事業者連絡会議への参加
- ③地域ケア会議

## 3. ニーズの発掘及びサービスの調整

介護予防教室、老人クラブなどの「憩いの場」、支部社協と共催して開催した懇話会（詳細は、前述「1. 社会福祉協議会支部活動の支援」に掲載）、地域住民の訪問を適宜行い、鋸南買物支援ガイドブックの配布や、ちょこボラ、カーぼら、食ボラ等の啓発を推進し、相談出来る体制づくりに努めた。

また、個別相談にも対応し必要に応じて適切なサービスにつなげ、社会福祉協議会では対応が難しいケースについては地域包括支援センターにつなぐなど連携を行った。

## 4. サロン活動の促進

### ①オレンジカフェたんぽぽの実施

毎月第三水曜日に『オレンジカフェたんぽぽ』（認知症サロン）を実施し、認知症の方の外出機会を増やし、生きがいに寄り添うとともに、介護者の負担軽減を図った。

### ②活動支援

地域の憩いの場づくりの情報提供や運営等の支援を継続して行った。

### ③子ども家庭サポートセンターちば（オレンジの会）と連携し、「憩いの場」につなぐ活動を進めた。

## 5. 買い物支援

民間事業所「ヤックス」が活動するにあたり、地域との連携を支援した。

## 1 1. 認知症施策総合推進事業の推進

認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するために、コーディネーターとしての役割を担う認知症地域支援推進員を配置し、認知症に関する普及啓発や認知症で困ったときに相談しやすい体制を図った。

また、ステップアップ研修を受講した認知症サポーターがチームを作り、認知症の人やその家族のニーズ支援につなげる仕組みであるチームオレンジを立ち上げるための準備をしている。

### 1. 認知症サポーターの養成

区 分	月 日	団体又は場所	人数
養成講座	4/24	一般住民・民生委員	26名
	5/24	民生児童委員・デイサービスセンター職員	7名
	5/30	竜島地区	17名
	6/16	鋸南苑職員	9名
	7/5	鋸南小学校	24名
	9/13・9/20	両向地区	19名
	9/20	鋸南町議会議員・鋸南町職員	21名
	11/6	鋸南中学校	36名
	12/5	鋸南町立中央公民館（いきいき学級）	29名
	1/29	鋸南町立中央公民館（一般住民）	21名
ステップアップ研修	6/5	鋸南町ボランティアセンター・ZOOM	29名
	9/11	すこやか「集団指導室」	71名
	10/23	鋸南町ボランティアセンター	42名

## 2. チームオレンジの立ち上げ準備

月 日	活 動 内 容	場 所	人数
4/10	初顔合わせ	すこやか「保健指導室」	13名
6/19	視察研修	南房総市「おたがい茶間カフェ」	20名
7/10	勉強会（視察研修の気付き、個別支援の方法）	保田小道の駅	18名
10/2	打合せ、勉強会	笑楽の湯	14名
12/4	デモ開催（ランチ会、ミニ勉強会（回想法））	キャロット	15名
2/5	年間スケジュール打合せ	鋸南町ボランティアセンター	5名

## 1 2. ボランティア活動の推進

区 分	事 業 内 容
1. ボランティアに関する総合窓口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア事業の主担当としてボランティアコーディネーターを設置し、ボランティアに関する相談受付、活動支援を行った。</li> <li>・カーぼら、食ボラ、ちょこボラのボランティア（サポーター）のマッチング業務を実施し、事業の円滑な運営に努めた。</li> </ul>
2. ボランティアに関する啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアだよりの発行など、ボランティア活動の啓発に努めた。</li> </ul>
3. 収集ボランティア活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ベルマーク、牛乳パック、使用済み切手等の収集活動を推進。</li> </ul>
4. フードドライブへの協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『フードバンクちば』が推進するフードドライブに協力。</li> </ul>
5. おもちゃの病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要請に応じて、おもちゃの修理ボランティアが活動。</li> </ul>
6. ボランティア連絡協議会事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア連絡協議会の事務局として、会の円滑な運営に協力。</li> </ul>

※その他、住民有志が立ち上げたボランティアグループ「鋸南復興アクセラレーション」の活動を支援した。

### 13. 災害ボランティア活動の体制整備

月 日	内 容	参加者
7/27	「鋸南復興アクセラレーション」と共催でボランティアスクール（夏休み防災教室）を開催。 ・ Dr. ナダレンジャーの自然災害科学実験教室 ・ デコボコドリームズの紙芝居&救急法	18名

### 14. 日常生活自立支援事業

千葉県後見支援センター（千葉県社会福祉協議会）が事業主体で実施している日常生活自立支援事業を受託。在宅で日常生活を送る上で十分な判断ができない方や、体の自由がきかない方が地域で安心して生活ができるよう支援に努めた。

区 分	サ ー ビ ス 内 容	利用者
福祉サービス利用援助	福祉サービスについての情報提供や利用手続きの援助・代行	11名
財産管理サービス	生活費の払戻しなど、日常生活上の出納管理の支援	

### 15. 共同募金運動の推進

#### 1. 赤い羽根募金

町内全戸に500円を目安額として募金を依頼。2,469件、1,260,334円の募金をいただいた。  
一般配分金803,000円は、ボランティアセンター活動や福祉教育を中心とした、地域福祉事業の財源として充当した。

## 2. 歳末たすけあい募金

町内全戸に 300 円を目安額として募金を依頼。2,459 件、741,965 円の募金をいただいた。  
歳末たすけあい配分金の 851,285 円は、歳末たすけあいの財源とした。

【歳末たすけあい運動】

No.	内 容
1	サロン支援事業助成金の支給（8 団体）
2	福祉標語入りグッズの頒布による啓発 （クリアファイル、クリアメッシュケース、ボールペン）
3	福祉教育の推進（高齢者疑似体験教材）
4	地区懇話会助成金の支給（保田支部、勝山支部、佐久間支部）

## 16. 福祉団体の事務局として協力

老人クラブ連合会、遺族会の事務局として活動を支援した。

団 体 名	会員数	備 考
鋸南町老人クラブ連合会	179 名	10 単位クラブ
鋸南町遺族会	143 名	10 月 31 日 千葉県戦没者追悼式

# 在 宅 福 祉 の 推 進

## 1. 福祉器具無料貸与事業

介護保険で福祉器具のレンタルができない方を対象に、車いす（29件）を無料で貸し出し、在宅福祉の向上に努めた。

## 2. 短期集中予防サービス事業（通所型サービスC）の送迎

町が介護保険法に基づいて、ADL や IADL の改善に向けた支援が必要な方を対象に、生活機能を改善するための運動器の機能向上や栄養改善等のプログラムを実施した短期集中予防事業の送迎業務を受託した。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
利用者数（人）	—	—	—	—	—	—	3	3	3	3	3	3	18	3
実施回数（回）	—	—	—	—	—	—	4	4	4	4	4	4	24	4
延利用者数（人）	—	—	—	—	—	—	10	11	11	8	7	7	54	9

## 3. 通所介護事業（指定管理者）

鋸南町デイサービスセンターの指定管理者として通所介護事業を受託運営。

要介護者等が可能な限り居宅において、その能力に応じた自立生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の世話や機能訓練を行なうことにより、利用者の社会的孤立感の解消や心身の機能の維持、並びに家族の身体的・精神的負担の軽減を図り、要介護者等の在宅福祉の向上に努めた。（開設日数：304日）

（利用状況）

（単位：人）

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
利用者	39	40	41	39	40	40	37	38	39	40	39	40	472	39.3
延人数	412	438	426	435	406	410	426	419	377	383	291	398	4,821	401.8
日平均	15.8	16.8	16.4	16.1	16.2	15.8	16.4	16.1	15.7	16.0	13.8	14.7		

(介護度別利用者数)

(単位：人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
事業対象者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	10	0.8
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
要介護1	10	9	11	10	9	9	9	9	11	10	12	12	121	10.1
要介護2	9	9	9	9	10	10	8	9	9	10	11	11	114	9.5
要介護3	13	13	12	11	11	11	11	11	10	10	6	8	127	10.6
要介護4	3	5	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	47	3.9
要介護5	2	2	3	3	4	4	4	3	3	4	5	4	41	3.4
計	39	40	41	39	40	40	37	38	39	40	39	40	472	39.4

#### 4. 通所型サービスA事業（ミニデイ）

要介護者等に対し、高齢者の閉じこもり予防や自立支援を目的に、運動機器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上に効果があると認められるプログラムを実施する。

また、要介護状態となることの予防及び地域における自立した日常生活の支援をすることにより、活動的で生きがいのある生活を送ることが出来るよう支援する。

(利用状況)

(単位：人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
利用者	30	29	26	26	25	25	25	26	26	27	26	25	316	26.3
延人数	109	132	92	96	92	94	117	95	94	89	95	67	1,172	97.7
日平均	27.3	26.4	23.0	24.0	23.0	23.5	23.4	23.8	23.5	22.3	23.8	22.3		

## 5. 訪問介護事業

要介護者や障害者等が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴や排泄、食事の介助、掃除、洗濯等、生活全般にわたる援助を行ない、要介護者等の在宅福祉の向上に努めた。

(介護度別利用者数)

(単位：人)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	48	4.0
要介護1	20	22	24	21	21	19	20	21	21	22	22	24	257	21.4
要介護2	23	24	20	21	18	19	18	21	19	19	17	20	239	19.9
要介護3	13	13	13	12	14	13	12	12	13	13	10	10	148	12.3
要介護4	10	7	9	6	7	6	5	4	5	4	7	7	77	6.4
要介護5	2	1	1	0	4	3	2	1	2	2	1	2	21	1.8
計	73	72	71	64	68	64	61	63	64	64	60	66	790	65.8
障害	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1
合計	74	73	72	65	69	65	62	64	65	65	61	67	802	66.8



(サービス内容別利用状況)

(単位：回)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
身体介護	180	171	158	146	183	223	190	224	211	181	148	133	2,148	179.0
身体・生活	98	96	79	82	89	69	66	61	57	60	80	87	924	77.0
生活援助	239	244	213	219	221	210	219	212	202	202	203	229	2,613	217.8
通院介助	104	109	131	115	119	104	119	132	136	94	109	100	1,372	114.3
合計	621	620	581	562	612	606	594	629	606	537	540	549	7,057	588.1

## 6. 居宅介護支援事業

(現在休止中)